

大好きな恐竜に会いに、年間60回来館！

2月20日、町恐竜博物館に、年間60回来館した戸上雅賀さんと大雅くんが優良利用者として表彰されました。1年間で60回の来館は、1998年に恐竜博物館が開館して以来初めてのこと。恐竜が大好きな大雅くんは、週に2回くらいのペースで博物館を訪れ、2階にある恐竜絵本のコーナーやティラノサウルスの模型などに、毎回目を輝かせています。本田恵典館長から表彰状と記念品を受けとった大雅くんは「何回来ても楽しい。また来ていろんな恐竜を見たい」と笑顔で話しました。



大好きなティラノサウルスの前で記念撮影

吉無田で野焼き

行楽地として親しまれる吉無田高原の野焼きが2月23日に行われました。野焼きは、害虫駆除や新緑の芽立ちを助け、山林火災の防止などを目的とした春の伝統行事です。地域住民や地元消防団など約60人が参加して、高原山頂から二手に分かれて火入れを開始。枯れ草に火を入れると、パチパチと音をたてながら、一面はあっという間に勢いよく燃え広がりました。草原約20㌔は、3時間ほどで真っ黒に様変わりしました。



1_勢いよく燃え盛る野焼きを見学する参加者
2_火消しに活躍する地元消防団や自衛消防隊たち



▲広大な草原に火をつける様子▶

御船小が地域のために清掃活動

2月6日、御船小学校（中野浩幸校長・345人）5、6年生合同で御船川河川敷やお祭り広場を中心に清掃作業を行いました。この取り組みは、6年生が地域のために考えた卒業プロジェクトの一つである「環境プロジェクト」の一環として実施し、各班に分かれて行いました。参加した加納孝哲さん（6年）は「一つのことをみんなで協力してやり遂げることができてよかった。これからも地域のためにも環境を大切にしたい」と話しました。



たくさんのごみを拾いました！

御船ライオンズクラブが林野庁長官賞受賞

令和元年度全国育樹活動コンクールで御船ライオンズクラブ（福味総一郎会長）が林野庁長官賞を受賞しました。当団体は、平成8年に町有林となり、平成12年に「能寛林」と命名した地に、広葉樹の植樹に着手し、その後も毎年育樹作業や下草刈りを行いました。最終的に10ヘクタール10,000本以上を植栽。育樹活動の普及に大きく貢献しました。福味会長は「今までたくさんの人たちの支えがあり、受賞することができた。今後も能寛林を守っていきたい」と話しました。



町に受賞の報告をした御船ライオンズクラブの会員たち

たけのこ園経営管理で奨励賞受賞

2月7日、熊本県たけのこ園経営管理コンクールの表彰式が開催され、御船町から水野建城さん・美可子さん（田代）が奨励賞を受賞しました。当コンクールは、たけのこの品質の向上や生産技術の向上を目的としています。水野さんは、約30年前にたけのこ園を始め、3,000㎡の竹林を古い竹から伐採したり、伐採する竹は管理しやすいように地際から伐るなどの工夫が評価されました。水野さんは「受賞して励みになった。夫婦で出来る限りたけのこ生産を続けていきたい」と話しました。



受賞した水野建城さん（左）、美可子さん（右）

よりよいまちづくりを目指して

2月20日、御船高校（栗谷雅之校長）1年生が「総合的な探究の時間」で元気あるまちづくりを目指し、まとめた提案書を御船町（藤木正幸町長）に提出しました。この提案書は高校生ならではの視点で考え、「誰でも立ち寄りやすいバス停」や「運動公園などで元気ある人と街を」などの幅広い分野で提案。代表で提出した井ノ一涼介さんは「これは1年生約180人の全ての生徒の意見が反映され、たくさんの方が詰まっています。今後のまちづくりに活かしてもらえればうれしいです」と話しました。



たくさんの方が詰められた提案書を藤木町長に提出